

## ● 標準予防策と個人防護具

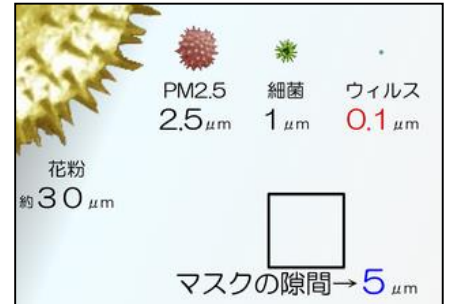
研究検査科 木須友子

### マスクは何のために必要？ 何を防げるの？

インフルエンザ等の呼吸器感染症の予防策としてなのか、医療現場や市中でマスクを着用している人を見かけますが、厳密にはマスク着用のみによって、インフルエンザの予防効果は認められていません。空中に浮遊するインフルエンザの粒子の大きさは、マスクを通過するためです。（花粉は粒子が大きいので、マスクの効果は期待できます）

しかし、咳をしている人の近くでは飛沫という大きな粒子が排出されており、その中にはウイルスや細菌が含まれています。咳をしている人は当然、飛沫をまき散らさないようにマスクをする必要があります。またその近くにいる人は、マスクを着用することで飛沫から身を守ることが出来ます。

粒子の比較 Medical MARKSTAR  
「マスクの隙間とインフルエンザウイルスの大きさ」より抜粋



### マスク着用！

- ・体液や血液に暴露する危険性がある時
- ・咳やくしゃみが出ている人

Q: マスクの付け方でどこが間違っているでしょう？



**マスクは正しくつけて、  
自分や患者さんを守りましょう！**



発行日  
▶2019年6月17日

感染対策 News / 2019年6月号

制作・発行 感染防御推進の会(院内感染対策委員会とは独立した会です)  
木須(医局)、豎山(医局)、平川(薬剤)、斎藤(4病棟)、但木(中材)  
遠藤(検査)、三上(編集) お問い合わせ:内線 2311 研究検査科 三上まで

